

製品名: HMG-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12103**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	HMGB2
別名	HMGB2; HMG2; High mobility group protein B2; High mobility group protein 2; HMG-2
遺伝子 ID	3148.0
SwissProt ID	P26583
免疫原	抗血清はヒト HMGB2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

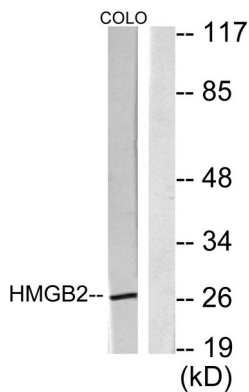
この遺伝子は、非ヒストン染色体高移動度群タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのタンパク質はクロマチンに結合し、高等真核細胞の核内に広く分布しています。in vitro 研究では、このタンパク質が DNA を効率的に曲げ、DNA

環状構造を形成できることが実証されています。これらの研究は、DNAの柔軟性を高めることで、シス作用性タンパク質間の協調的な相互作用を促進する役割を示唆しています。また、このタンパク質は、DNA二本鎖切断修復およびV(D)J組換えにおけるDNA末端結合過程の最終段階であるライゲーションにも関与することが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月]機能: 一本鎖DNAに優先的に結合し、二本鎖DNAをほどく。類似性: HMGBファミリーに属する。類似性: 2つのHMGボックスDNA結合ドメインを含む。サブユニット: SET複合体の構成要素であり、SET、ANP32A、APEX1、NME1も含まれる。SETと直接相互作用する。

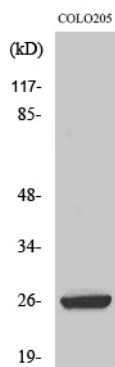
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



COLO205細胞ライセートのHMGB2抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HMG-2ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析